

特集

学校運動部活動と連携するクラブ



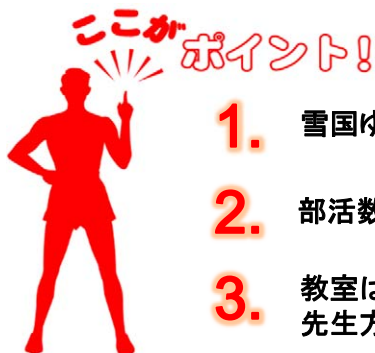
謹教スポーツクラブ ＜福島県会津若松市＞



中学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒数減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力をもつ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動が成り立たなくなる現状があります。

このような中、外部指導者の活用も議論されるようになり、中学校運動部活動と総合型地域スポーツクラブの連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。



1. 雪国ゆえの悩みから中学サッカー部との連携が始まる 体育館でサッカー
2. 部活数の減少を検討するほどの中学校に救いとなったバレーボール教室
3. 教室は夕方以降に小学生と中学生二つに分けて実施 先生方の協力が不可欠

1 クラブ概要

クラブ設立前には、会津若松市の市立謹教小学校学区において地区体育連盟として、各競技（主にソフトボール、8人制家庭バレーボールなど）の練習・大会参加、地区町民の運動会を運営し、平成13年に市役所スポーツ振興室で複数の総合型地域スポーツクラブを設立したいとの案が持ち上がり、謹教体育連盟にも打診がありました。執行部役員が、市の担当者と打ち合わせや検討を重ねた結果、スポーツ振興くじ(toto)助成を受け平成16年の総会の承認を機に総合型スポーツクラブ「謹教スポーツクラブ」として新たに誕生しました。「健康づくり、仲間づくり、思い出づくり」を理念に、子供から大人まで、老若男女誰でも参加できる開かれたクラブを目指しています。

総合型地域スポーツクラブは自分達だけではなく地域も一体となって取り組むことになるため、市、県の担当者の方々と教室開催の計画や運営の方法、予算も含め試行錯誤しながらのスタートでした。当初は役員がクラブマネージャー養成セミナーを受講し、totoの創設支援を受けながら準備を進め、市体育指導員によるバレーボール教室、ストレッチ講習会、スキー教室、ゴルフ教室など参加者の状況、反響を確認しながらの開催でした。設立当初から実施している謹教スポーツクラブ会長杯ソフトボール大会は、今年度で第14回目を迎えます。

2 震災、toto支援が転機→中学部活動と関わり

クラブに大きな転機が訪れたのは7年前、東日本大震災が発生し、被災地クラブの活動基盤強化のためtotoの支援が確定したことです。ほとんどが素人のメンバーのため支援を受けるための準備はとても大変なことでした。しかし、元々、ボランティア精神旺盛なメンバーです。この事業が形になり、少しでも市民の皆さんの健康づくりに役立ち、少しでも医療費削減に貢献できればという信念で走ってきたような気がします。専門のクラブマネージャーを雇用し、各種教室、イベントの計画、指導者とのアポイントなどを進めている時、中学校の部活動とクラブの関わりが生まれました。

それまでのクラブ会員は、大人のほかにスポーツ少年団の小学生がメインで、中学生との交流はほとんどありませんでした。しかし、バレーボール教室の開催が契機となり中学生がクラブ員として活動するようになりました。

3 取り組み内容

●冬場のみ中学サッカー一部に体育館を提供

私たち謹教スポーツクラブのクラブハウスは、市から管理委託を受けた旧高校体育館の一室にあり、他の競技の事務所とシェアしながら事務処理を行っています。

中学部活動との連携の一つ目は、サッカーです。中学校のサッカー一部は通常、グラウンドで練習を行いますが、雪国会津は12月から3月までは外での練習がほとんどできません。中学部活動も競技数が多く、一つの部活が体育館を使える日にちは1週間のうち1日程度で、どの部活も体育館の使用は悩みの種でした。サッカー部のある保護者が、謹教スポーツクラブが体育館を管理していることを知り、「場所がなくて練習できないので使えるようになりませんか」と相談を持ちかけたのが契機となり体育館を提供することになりました。保護者会の会長さんが連絡担当となり、学区の中学サッカー一部が冬の間、体育館で練習しています。

サッカー指導はクラブの外部コーチにお願いしています。体育館を使える時間が限られているため、顧問の先生と外部コーチが話し合って練習内容を決めています。冬の間の体力づくりは大切ですが、ボールに触れ、追いかけてゴールを決めることができるのは生徒たちにとっても、良いことだと思っています。他の体育館までの移動、体育館の使用料も含め、親にかかる負担も少しは軽減されているはずです。

●活動停止を食い止めたバレーボール教室

● 会津バレーボール協会の熱望で実現

もう一つはバレーボールです。会津バレーボール協会会長を務めるとある高校のバレーボール部顧問の先生から、「バレーボール人口の減少をなんとか食い止めたい」「中学校3年間バレーボールをやってきた生徒たちが受験まで気分転換できる場所を与えてあげたい」との希望が届き、これに応える形で、バレーボール教室を開催することになりました。もちろん、中学3年だけではなく、小中学生なら誰でも参加でき、「未経験大歓迎」でスタートしました。

地域の中学校も他の地区同様、子供が減り続け、昔7クラスが普通だった一学年が今は4クラスに減っています。何年か後には新入学の生徒が100人を切ることとなります。こうした状況から部活数、先生の数、生徒の数それぞれのバランスが崩れ、部活を減らす検討が中学校では始まっていました。バレーボール部も例外ではなく、まして団体競技では最低の人数の確保も必要になり、活動停止のリストに入っていました。

● 学校にチラシ持参し参加者募集

市内一円の中学校、そして、小学生にもバレーボールを経験し好きになってもらえるよう、各小中学校にチラシを持っていき、教頭先生や教務主任の先生に参加者の募集をお願いしました。初めはなかなか集まらず苦戦しましたが、評判を聞いたり、参加した子に誘われたりと徐々に人数が増え、会場を分けて小学校、中学校それぞれ別に教室を開催することになりました。違う学校から集まった子どもたちも、やがて仲間になり、挨拶もでき、何よりバレーを好きになってくれました。

● 先生方の協力得て運営

活動時間は夜7時からで、年20回(各年度で多少回数には誤差があります)開催しています。バレーボール教室では、高校の部活動を指導されている先生や、社会人で現役の方から指導を受けることができるため、専門の技術を学べる大変貴重な教室になり、参加者の競技レベルも高まっています。

また、教室を開催している会場の中学校のバレーボール部顧問の先生にも教室に参加して指導してもらい、最終の鍵確認などでも協力してもらっています。2年ほど前からは、転勤で着任された中学のバレーボール部顧問にも協力いただいています。

- **参加小学生が中学でも入部**

始めて3年目に小学校の部に参加していた子どもたちが中学生になり、バレーボール部に入部しました。その入学前、中学校ではバレーボール部が活動停止の予定でしたが、入部希望者がいる状況での停止はできず、活動は続けました。今年度の練習予定は終了し、先の反省会ではバレーボール協会の方々が来年度も継続したいとの意向を示され、私たちも活動継続を決定しました。

4 運営スタッフが不足 人材確保が最大の課題

現状で、子どもが何人集まるか予想もできませんが、特に小学生はサッカーやバスケのスポーツ少年団に所属していても、バレーボールもやってみたいという子供もいるかもしれません。どのスポーツが自分に合っているか分からない中で、いろんな競技を経験させてあげたいと思います。そして、その環境が整っていることをうまく活用し、子どもたちに役立つ活動に発展させたいと思っています。

本来の部活とは違う時間帯での活動のため、体育館の管理、鍵の施錠、参加者の安全など、運営する側でも人材の確保が必要になっています。toto助成を受け、クラブマネジャーを雇用し、各教室の運営管理、予算管理もマネジャーの仕事でした。支援が終わった今年度は、マネジャーを雇用する資金源の確保は難しく、謹教スポーツクラブの理事が教室の管理運営を兼務してきました。

小学生、中学生2つに分けた教室は、小学生が木曜日に、中学生が火曜日にそれぞれ多いときは月3回開催するため、クラブの理事の中には働いている人もいることから、スタッフの当番決めもままならないことがありました。人材不足をカバーするために、どのようにクラブを運営していくかが大きな課題となっています。

一方で、部活動との連携がきっかけとなり、教室に参加する小学生・中学生の保護者に運営スタッフとしてクラブの活動に携わってもらえるようになったり、学校の教員との連携もできるようになってきています。今後、このつながりをいかに広げていけるかが重要であると考えています。

(謹教スポーツクラブ 副会長 坂内 喜恵)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成16年4月24日

所在地 福島県会津若松市

特徴

謹教スポーツクラブは、過去、会津若松市の各地区にあった体育連盟で活動しておりました。総合型地域スポーツクラブとして活動を始め、手探りではありますが基本は「老若男女問わず、誰でも体力づくり、仲間づくり、思い出づくり」をベースとして、少しでも多くの方に参加していただき、参加するのが楽しみだと思ってもらえるようにと考えています。近年都会ではお隣同士の付き合いもままならない状況だったりしますが、我が会津若松も例外ではなく近所のつながりを大切にしていきたいと思って活動しています。

例としては地域の小学校との合同の運動会は18回目を迎えました。

子供が減少している中で、地域と、親と、子供とみんなで集まり競技を行うことでの一体感は、回を増す毎に拡大しています。

連絡先

〒965-0873 福島県会津若松市追手町2-41 旧学鳳高校体育館

電話番号 070-6950-9147

E-Mail kinkyousc@gmail.com



サッカー部の体育館での練習の様子



小学生バレーボール教室の様子



冬の中学校のグラウンド